

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 23 年 5 月 19 日 (2011.5.19)

【公表番号】特表 2010-525084 (P2010-525084A)

【公表日】平成 22 年 7 月 22 日 (2010.7.22)

【年通号数】公開・登録公報 2010-029

【出願番号】特願 2010-506557 (P2010-506557)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/445 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/00 (2006.01)

A 6 1 P 7/06 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

C 0 7 D 211/46 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/445

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 3/00

A 6 1 P 7/06

A 6 1 P 9/00

C 0 7 D 211/46

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 3 月 31 日 (2011.3.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

タンパク質の誤った折畳みに関連する疾病の治療に使用するための薬理シャペロンであって、ここに治療が約 4 日～約 10 日間 1 日 1 回薬理シャペロン約 75～300 mg の日用量を経口投与し、続いて約 3～約 8 日おきに 1 回約 75～225 mg の維持用量を経口投与することを含む、薬理シャペロン。

【請求項 2】

投与される維持用量が約 150 mg である、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 3】

維持用量が約 2～3 日おきに 1 回投与され、薬理シャペロンが 1 - デオキシガラクトノジリマイシンまたはその薬理学的に許容される塩であって、疾病がファブリー病である、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 4】

疾病がファブリー病、ゴーシェ病、ボンペ病、パーキンソン病、およびアルツハイマ病からなる群から選択される、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 5】

薬理シャペロンが 1 - デオキシガラクトノジリマイシンであって、疾病がファブリー病である、請求項 1 に記載の使用。

**【請求項 6】**

疾病がファブリー病であり、薬理シャペロンが 1 - デオキシガラクトノジリマイシンであって、維持用量が 2 ～ 3 日おきに約 1 5 0 m g である、請求項 1 に記載の使用。

**【請求項 7】**

C e r e z y m e ( 登 録 商 標 ) 、 F a b r a z y m e ( 登 録 商 標 ) 、 A l d u r a z y m e ( 登 録 商 標 ) 、 M y o z y m e ( 登 録 商 標 ) 、 R e p l a g a l ( 登 録 商 標 ) お よ び Z a v e s c a ( 登 録 商 標 ) からなる群から選択される少なくとも 1 つの追加療法と組合せて薬理シャペロンを投与するステップをさらに含む、請求項 1 に記載の使用。

**【請求項 8】**

薬理シャペロンがイソファゴミンであって、疾病がゴーシェ病である、請求項 1 に記載の使用。

**【請求項 9】**

薬理シャペロンが 1 - デオキシノジリマイシンであって、疾病がポンペ病である、請求項 1 に記載の使用。